

第49期中間決算説明資料

(平成16年10月1日～平成17年3月31日)

平成17年7月

日本フォームサービス株式会社

(証券コード:JASDAQ7869)



中間連結貸借対照表

(単位 :百万円)

	第49期中間期末 平成17年 3月31日現在		第48期中間期末 平成16年 3月31日現在		第48期末 平成16年 9月30日現在	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	800.3	18.6	811.9	18.2	781.1	18.0
固定資産	3,510.8	81.4	3,658.5	81.8	3,571.8	82.0
繰延資産	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0
資産合計	4,311.7	100.0	4,471.0	100.0	4,353.5	100.0
流動負債	936.8	21.7	854.1	19.1	885.2	20.3
固定負債	756.8	17.6	967.3	21.6	835.8	19.2
負債合計	1,693.7	39.3	1,821.5	40.7	1,721.1	39.5
資本合計	2,617.9	60.7	2,649.5	59.3	2,632.4	60.5
負債及び資本合計	4,311.7	100.0	4,471.0	100.0	4,353.5	100.0

(注)中間貸借対照表は別紙経理資料を参照願います。

中間連結損益計算書

(単位 :百万円)

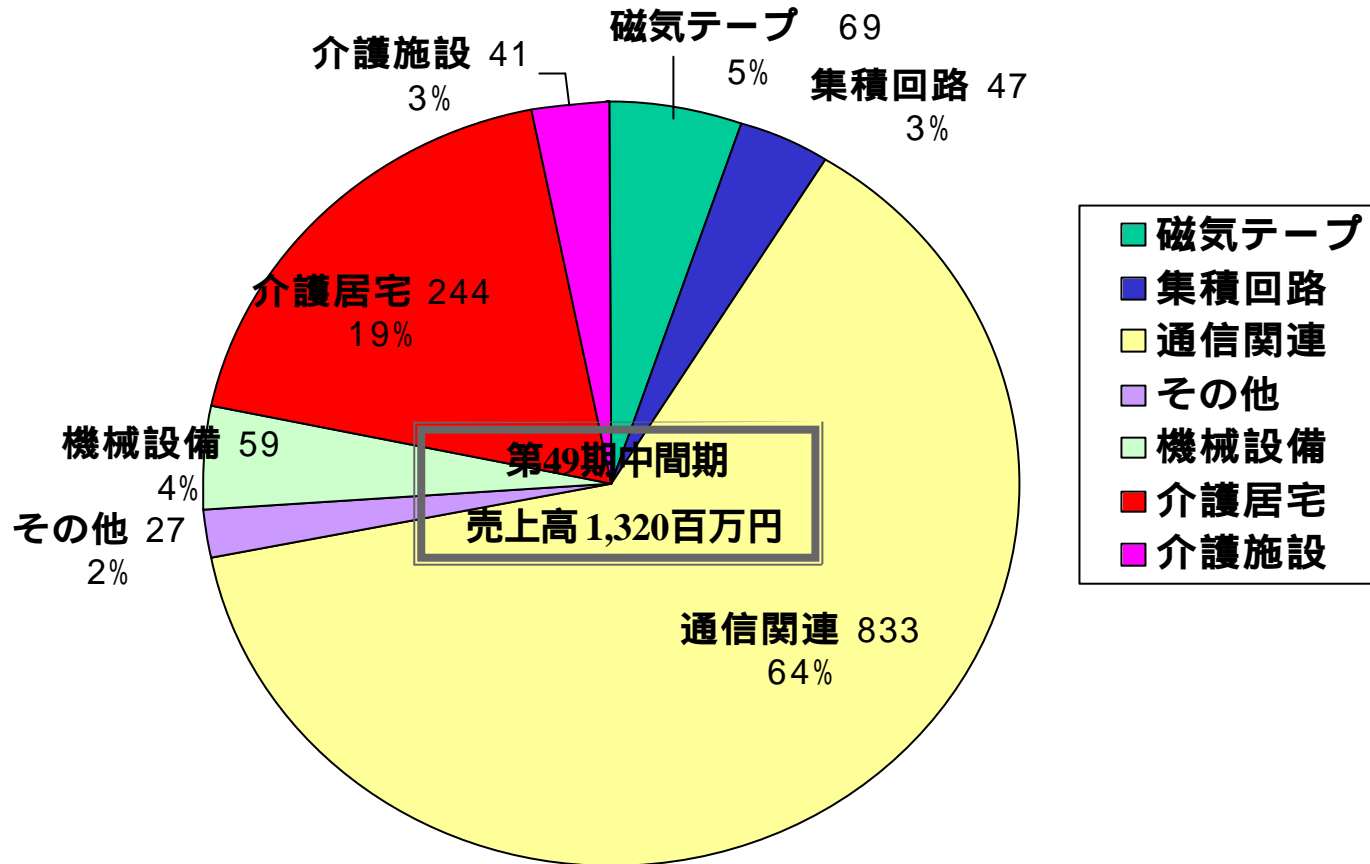
区分	第49期中間会計期間 自 平成16年10月1日 至 平成17年3月31日		第48期中間会計期間 自 平成15年10月1日 至 平成16年3月31日		第48期会計年度 自 平成15年10月1日 至 平成16年9月30日	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	1,320.6	100.0	1,267.4	100.0	2,396.4	100.0
売上原価	938.7	71.1	871.8	68.8	1,683.6	70.3
売上総利益	381.8	28.9	395.6	31.2	712.8	29.7
販売費及び一般管理費	394.1	29.8	404.1	31.9	773.8	32.2
営業損失	12.2	0.9	8.5	0.7	60.9	2.5
営業外収益	7.6	0.6	6.2	0.5	14.6	0.6
営業外費用	12.8	1.0	12.6	1.0	25.3	1.1
経常損失	17.4	1.3	14.9	1.2	71.6	3.0
特別利益	8.5	0.6			42.9	1.8
特別損失	1.2	0.1			1.9	0.1
税金等調等純損失	10.1	0.8	14.9	1.2	30.6	1.3
法人税、住民税及び 事業税	1.8		2.0		4.0	
法人税等調整額	0.9		13.8		12.7	
当期純損失	12.9	1.0	30.7	2.4	47.3	2.0

(注) 中間損益計算書は別紙経理資料を参照願います。

区分別売上高

第49期中間期 区分別売上高】

(単位 :百万円)



【検証 予想と実績（連結）】

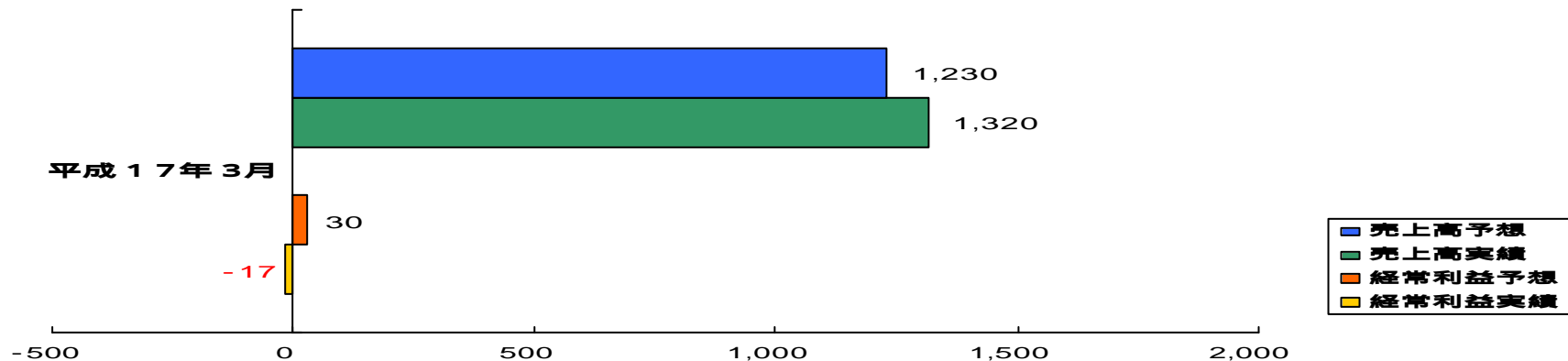
【売上高】

(単位:百万円)

		期首予想	中間実績	予実差
全社計		1,230	1,320	90
	メーカ部門	930	1,035	105
	介護事業部	300	285	15

【経常利益】

		期首予想	中間実績	予実差
全社計		30	17	47
	メーカ部門	53	21	32
	介護事業部	23	38	15



【利益が大幅に減った理由】

【メーカー部門】

粗利の確保が難しかった。

原材料の高騰により、価格展開ができなかった。

新製品の開発が年度目標 50件中 9件 (18%) と低調であった。

【介護部門】

居宅介護部門でのケアマネージャーの減少、講習会の減少で、社内の体制が整わなかった。

【 検 証 】

（ 介護事業部 / 在宅 ）

単位 : 千円

	第 1 四半期	第 2 四半期	中間会計期間
	(H16.10 ~ H16.12)	(H17.01 ~ H17.03)	(H16.10 ~ H17.03)
売上高	131,667	112,176	243,843
人件費	91,700	85,461	177,161
人件費率	69.6%	76.2%	72.7%
その他経費	53,958	53,188	107,146
経常損益	13,991	26,473	40,464

（介護事業部 / 施設）

単位：千円

	第 1四半期	第 2四半期	中間会計期間
	(H16.10 ~ H16.12)	(H17.01 ~ H17.03)	(H16.10 ~ H17.03)
売上高	14,579	26,481	41,060
人件費	7,561	12,303	19,864
他経費	8,371	9,953	18,324
経常損益	1,353	4,225	2,872

入居利用者は予定以上の速さで3月末には24名の入居となった。

スタッフのスリム化、経費削減等で第49期中間会計期間においては、約2,900千円の経常利益を計上した。

【 検 証 】

Qオービステクノ(株)

単位 :千円

	第 1四半期 (H16.10 ~ H16.12)	第 2四半期 (H17.01 ~ H17.03)	中間会計期間 (H16.12 ~ H17.03)
売上	44,127	43,829	87,956
経常損益	476	4,886	4,410

不良品に対する返品率が大幅に低下した。

開設当時の混乱は収まり、赤字幅は低下したものの、まだまだ力不足は否めない。

49期下期連結業績予想

(単位 :百万円)

	売上	経常利益
日本フォームサービス(株) 計	1,170	65
メーカー部門	868	77
介護事業部	302	12

49期 ルマ達成のシナリオ

【メーカー部門】

個人情報保護法に基づく新製品の販売の強化

引き続き官公庁のセキュリティー対策製品の販売の実現

コンシューマー向けアームから本格的なプロフェッショナル向けの
モニターアームの開発 販売

大型モニター対応の取付金具、スタンド等の販売強化

300mmウェハーの受注 販売の強化

49期 ルマ達成のシナリオ

【在宅介護】

ケアマネ一人当たりのプラン作成を最低40名以上

営業活動の強化で顧客獲得を月平均10名以上

人件費比率を売上の60%以内とする。

介護予防を積極的に仕掛ける。

施設との連携強化。

49期 ルマ達成のシナリオ

【施設介護】

8月よりデイサービス開始。

他社に無いサービス (脚湯等) で地域のモデルとなる様にする。

想定人数 50名に対し、常に 80%以上 (40名) のデイサービスの利用率であること。

組織図【19期中間】

